



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【カイクベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



自分に自信をつけるために

日笠 由依菜(諸口教室)

皆さん、初めまして。今年の4月から諸口教室の非常勤講師として集団授業を担当しております。日笠由依菜(ひかさゆいな)と申します。小学校6年生から中学校

題に追われながらも、部活のオフの日や休日のすぎ間時間を上手く活用しながら勉強に励んでいました。

中学生の夏休みは毎日部活があると、大変だと思うのですが、学校の授業が止まっているこの長期休みを利用して、自分の苦手箇所を克服して欲しいと思っています。私は英語担当なので、英語に絞って話す、英語の基礎である単語と文法の復習はきちんと行ってほしいところです。中学1年生は特に今のこの時期からきちんと苦手を潰しておかないと、後々苦勞することになります。単語を覚えていない、文法がめちゃくちゃのままだと、この先、長文なんてとてもじゃないけれど、解くことなんてできません。高校受験が終わったとしても、その先の大学受験にも英語は必ず必要になってきます。英語はコツコツ積み上げていく教科なので、毎日少しでも時間をとって、机に向かう時間をとるようにしましょう。単語を音読することや、教科書を読むことでも構いません。今、頑張っておけば、後々とても楽になるので一緒に頑張っていきましょう。2年生、3年生もこれまで習ってきた内容をしっかりと復習する時間と、頭の中を整理しておくように

しましょう。

しかし、毎日部活と勉強ばかりだとさすがに体がもちません。集中力も続かなくなってしまいます。友達と遊びに行く日を作ったり、家族と旅行に行ったり、息抜きをしてリフレッシュする時間を作るようにしてください。また、行きたい志望校の説明会に行つて、モチベーションを高めるのもいいと思います。何かご褒美や楽しみを自分で作って、充実した楽しい夏休みをしてほしいと思います。

夏休みをどう過ごすかは、人それぞれだと思いますが、今の自分の努力が、目には見えなくても、未来の自分を支えてくれる力になります。何よりも、何にも変えることのできない大きな自信につながります。特に3年生はこの夏が受験の正念場になり、辛く苦しい日々になると思いますが、自分を信じて頑張っていきましょう。分からない問題があったら、いつでも質問しに来てください。皆さんの力になれるよう、私も一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

3年生まで諸口教室でお世話になり、カイチ予備校蒲生校でも一年間ほど通っていた時期がありました。高校は大阪教育大学附属高校平野校舎に通い、その後、私の夢である小学校教諭になるために武庫川女子大学教育学部に進学しました。

今回は、私から「夏休みの過ごし方」についてお話ししたいと思います。当時、中学生の私は吹奏楽部に所属していました。夏休みはコンクールに向けて、ほぼ毎日練習があり、朝から夕方まで楽器を吹き続ける日々でした。夜からは塾があったため、クタクタになりながら夏期講習の授業を受けていたことを今でも鮮明に覚えています。学校や塾から与えられる大量の宿



細越のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 細越 弘明(パスカルキッズFC担当)

第1回パスカルキッズFC教室勉強会開催 In OSAKA

7月6日(日)に記念すべき第一回パスカルキッズFC教室勉強会が天王寺区上本町の万緑会教室で開催されました。企画した当初では5教室ぐらの参加を見込んでいましたが、なんと9教室11名の先生方が遠方にもかかわらず万緑会教室にお越しいただきました。

午前の部は岡本先生と高木塾長による、はじめの挨拶で和やかに始まりました。

最初は「教室運営の事例紹介」で、幼児教育部



▲身振り手振りを交えて語る高木塾長

その話の中で気づかされたことは、小学4年の生徒で幼児期にパスカルキッズを学んだお子さんと学んでいないお子さんでは数の認知能力に大きな差が出るとの事でした。

パスカルキッズプログラムでは、ただ単に計算式を覚えるのではなく、原理や論理を楽しく学び数を空間

の大きさや面積の広さとして捉えて理解する。それゆえ数の認知能力が高まるのを改めて感じました。

続いての「教室運営の事例紹介」は弊社万緑会の事例で教室長の伊藤先生が天王寺区上本町という有名私立中学高校を多く構える教育熱心なエリアならではの能力開発に向けた教育方針や無料体験に来られたお子さんへの印象に残るアプローチ方法などを面白おかしく笑いも誘いながら丁寧に話されていました。



▲表情豊かな伊藤先生

午前の部の最後は高木塾長による「マーケティングの秘訣」です。

マーケティングの手法として

①口コミ ②ポスティング ③インスタグラム広告 ④校門前配布 ⑤併学・連結等

多くの手法がありますが、「すぐに成果は出ない!」ですよ、ですがここで諦めてはいけないのです、実は「肅々とマーケティングを続ける」これが繁盛の

秘訣ですよ。】そして多くの手法を一つ一つ解りやすく高木塾長が話す様子を皆さんうなずく様に聞いておられました。

昼食休憩後の午後の部は「皆様から事前にいただいた相談や質問について一緒に考える」です。

岡本先生 マナロ先生 伊藤先生が一つずつ丁寧に解説、お金タイトルを使用した指導方法の質問では先生達が実技を交えて生徒へ数を量としてとらえる指導方法を解説されていました。

全てのプログラム終了後も多くの方が教室に残って高木塾長、岡本先生、マナロ先生、伊藤先生と楽しく談笑されていたり、参加された各教室の先生方が情報交換されていたりして充実した勉強会でした。私もこの勉強会に参加して教育に情熱を傾ける先生方とご面識いただき大変光栄に思えました。次回の勉強会は10月26日(日)東京都にて開催決定です。

今年2月には茨城県の下館教室に高木塾長、岡本先生と研修に訪問していますので今年2度目の関東方面出張になります。

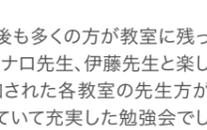
そして今後、年に2回日本各地で勉強会の開催を予定していて素敵な先生方とお知り合いになれるのが楽しみです。



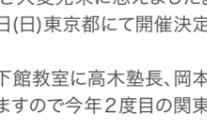
▲お金タイトルでの指導方法を熱演する岡本先生



▲教具を使って実技指導するマナロ先生



▲無事に勉強会を終えて笑顔でチーズ



▲無事に勉強会を終えて笑顔でチーズ

■休講日のお知らせ

以下の期間は、全コース休講となります。
・8月12日(火)～8月16日(土)
・8月29日(金)・30日(土)
また、以下の日程は小学部・中学部の休講日となります。
・8月25日(月):小学部・中学部 休講
・8月26日(火):小学部のみ休講

学びの質は休み方で変わる

——集中力とモチベーションを高める、夏の学習戦略——

いよいよ8月に入り、夏期講習も佳境を迎えています。中学3年生にとっては、受験に向けた本格的な準備期間。8月2日(土)には進研模試の予行練習である「プレ模試」が実施されましたが、結果はいかがだったでしょうか。思った以上に手応えを感じた人もいれば、努力しているのに成果が出ず、焦りを感じた人もいるかもしれません。

実は、指導する先生達も毎年この時期はドキドキしています。プレ模試の結果を見て、後半戦の指導方針を練り直すのが恒例。模試の結果が振るわなかった生徒やクラスが、本番で大きく伸びることも珍しくありません。だからこそ、今このタイミングで「どう学ぶか」「どう休むか」を見直すことが、秋以降の成績に直結します。

8月10日～12日には、夏期合宿も控えています。9月からは学校の実力テストや定期テスト、進研模試や五ツ木模試などが目白押し。これらの結果が、受験校の選定に大きく影響することを考えると、夏はまさに“勝負の季節”です。

しかし、がむしゃらに頑張るだけでは、モチベーションも集中力も長続きしません。むしろ、コンスタントに高い集中力を維持するためには、「休む」ことが極めて重要です。今回は、私自身が長年仕事の現場で実践してきた「休み方の工夫」を、受験生の皆さんにもぜひ取り入れてほしいと思い、紹介します。

① 25分勉強して5分休む「集中サイクル」

私が日々の仕事で取り入れているのが、ストップウォッチを使った時間管理法です。30分のうち25分間集中して作業し、残りの5分は必ず休憩を取る。これを繰り返すことで、集中力を高く保ち続けることができます。

勉強も同じです。最初のとっかかりがしんどいと感じる人は多いでしょう。でも「とりえず25分だけ」と決めてタイマーをスタートすると、不思議と集中できてしまう。気づけばノッてきて、もっと続けたいと思う頃にアラームが鳴る。ここで心を鬼にして、いったん勉強を止めて5分休憩を取る。机から離れる、自習室なら伏せて少し目を閉じる。これだけで、次の取り掛かりが驚くほどスムーズになり、集中力がさらに高まります。

このサイクルを3～4本繰り返したら、10～20分の長めの休憩を入れるルーールにすると、休憩が楽しみになって集中力が持続します。

この方法には副産物が2つあります。1つ目は、毎回時間を計ることで、自分が25分でどれくらいの学習量をこなせるかが見えてくること。慣れてくると「25分でここまでやるう」とタイムプレッシャーをかけて学習できるようになります。これは、受験直前期の過去問演習などで非常に役立ちます。

2つ目は、タイマーを押すことで脳が自動的に「勉強モード」に切り替わるようになること。これは本当に便利です。勉強を始めるまでの「気持ちの準備」が不要になり、スイッチが入るまでの時間が短縮されます。

② 週末にしっかり休む「楽しみの設計」

夏期講習がどれだけ大変でも、「楽しみ」を作ることとはとても大切です。受験生だからといって、遊んではいけないわけではありません。むしろ、メリハリをつけることで、平日の学習効率が上がります。

例えば、日曜日のお昼は「これをして遊ぶ」と決めておく。ゴロゴロしてスマホを見るでも、お菓子を食べながらマンガを読むでも、家族とちょっと出かけるでもいい。その楽しみを目指して、月～土を頑張るようにする。できれば月曜日に、週の学習内容を箇条書きにして、「終わったらこれして遊ぶ」とセットにすると最高です。

私自身も仕事でこの方法を何年も続けています。日曜に遊ぶために、平日で仕事をやり切る。最近では、金曜に余裕を持ちたいので、月・火でスタートダッシュをかける作戦まで立てています。

③ 「面白がる」気持ちを持つ

こうした工夫を紹介すると、「やってみよう」と動く人と、「分かってはいるけど…」と動かない人に分かれます。ここで大切なのが、「なんでも面白がる」気持ちです。

みんなは受験生。夏に頑張れば、2学期の実力テストで成果が出て、受験に圧倒的に有利になります。やらなければならぬのは分かっている。だったら、ブツブツ文句を言わずに、いっちょ面白がってみる。休み方を工夫して、自分なりに実験してみる。そうやって、勉強法そのものを「自分のもの」にしていく。

この「面白がる」精神は、勉強だけでなく、人生のあらゆる場面で役立つと思います。受験も含めて、世の中の出来事に善し悪しはありません。それをどう捉えるかが全てです。

嫌な勉強も、受験も、面白がってみる。自分の工夫で、学びを変えてみる。その姿勢こそが、成績を伸ばす一番の秘訣です。

夏期講習も受験勉強もまだまだ続きますが、みんなにとって高校受験に取り組める時は「今」この時しかありません。みんなの頑張りは、来年には必ず素敵な思い出に変わります。みんな「面白がって」この受験を乗り越えよう!

カイチからのお知らせ

■夏期講習期間について

8月23日(土)まで、夏期講習を実施しております。通常授業とは曜日・時間が異なりますので、詳細は「夏期講習のお知らせ」をご確認ください。

■キッズクラス・ビンゴ大会開催

8月23日(土)には、各教室でキッズクラスの「夏のビンゴ大会」を開催します。楽しいひとときと素敵な賞品をご用意しておりますので、是非ご参加ください。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

みんなの頑張りが実りますように!! ～関目教室の様子～

マナロ 恭子(関目教室)

「ザ!夏!!」という毎日ですね!夏は暑いだけでもしんどいのに、仕事や家事、育児と大人はだいたい疲れてくる頃ですが、子供達はなんであんなに元気なのでしょう。私の小1の息子は毎朝6:30に起き、朝食を済ませてすぐに公園へ虫取りに行き、お昼ご飯を食べに帰ってきたらまた虫取りに出かけます。「こんな暑いのになんでそんなに元気なん?」と聞くと、「子供から!と...。そりゃそうだ。さすが子供!!」

毎朝夏期講習に来る生徒達も本当にえらいなと思います。その上きちんと宿題もやってくる。今この文章を作成している私の目の前にも小4の女の子が二人、塾と学校の宿題をしに来ています。午前中に夏期講習へ来て、午後からまた宿題をしに来ているのです。パスカルキッズの授業が始まる15時頃から来てもらう18時...。分からないところがあるとすぐに聞ける環境がいいのか、私のいる時間を狙ってくる子達。力になれているのなら嬉しいです。そして女子なのでおしゃべりも多い。学校のこと、友達のこと、兄弟のこと...いるんなことを聞かせてくれます。おしゃべりしながらもしっかり塾の宿題を終わらせ、学校の宿題までやって帰っていきました。家でのおんびりしながら適当にすることもできるのに、わからないところはきちんと聞きたいからとわざわざ塾にもう一度来る。4年生で今自分がしなければならぬことにしっかり向き合うことができるなんて本当に素晴らしいと思います。



▲休み時間にはしゃぎすぎて怒られた後の小1生。素直に問題を解く... ▲夏期講習の後も自習に来た二人。時には教え合うがその教え方がまた上手い!

小学部は毎月診断テストがあり、テスト前の土曜日にはたいてい「勉強会」として自習室を設けています。先生が一人は付きますのでわからない時にすぐに質問ができて解決できるのが本当におすすめです。普段授業中に「分かりません!」と手を挙げることにまだ慣れていない人は是非ここで自分から質問することに挑戦して欲しいなと思います。

また、間違っただけを覚えていることに気づく場所でもあります。一人でやっていることに気づくことなく、「自分は勉強しても点数が取れない。どうせ無理。」と思ってしまい勉強嫌いにつながってしまいます。前回の勉強会でも同じような間違っただけを覚えている子が何人もいました。次のようなことをしていないか、皆さんもぜひチェックしてみてください。

間違っただけを覚える①～英単語編～

読めもしない単語を書いて覚えようとする。 Beautiful beautiful beautiful beautiful beautiful beautiful...とノートにとにかく何行も書いて覚えようとする

「今、何という単語を書いているの?」と聞くと読めない。

おすすめの勉強法

- ①カタカナで書かれている発音を隠しながらまずは全て読めるようにする
- ②単語を読んで意味が言えるようにする
- ③②ができたら1つ目の単語を、音拍で区切るように発音しながら3回ほど書く(書く時は区切らない) 例:beau(ビュー)ti(ティ)ful(フル), beautiful, beautiful, beautiful...
- ④何も見ずに書けるかどうか試してみる
- ⑤書けるようになったら、次の単語を③のやり方で3～5回ほど書く。 ex(エク)ci(サイ)ting(ティン), exciting, exciting, exciting...
- ⑥前の単語beautifulとexcitingを書けるかチェック
- ⑦新しい単語を覚えるたびに、前に覚えた単語も一緒に書けるかチェックする

これだけ頑張っても、暗記した内容は1時間後には半分以上忘れてしまいます。ですから、他の教科の勉強をした後にもう一度試してみたり、翌日にもう一度やることをお勧めします。

間違っただけを覚える①～社会編～

重要語句だけを切り取って覚えようとする 例:おおよそ経度180度にある1日の始まりと終わりを定めた線を何といいますか。 →「日付変更線」のみを覚えようとする。 これだと、「日付変更線はおおよそ何度に設定されていますか?」という違った問題になるとさっぱり答えられません。

おすすめの勉強法

重要語句だけを覚えようとせず、文で理解しよう! 例:「1日の始まりと終わりを定める線は日付変更線でおおよそ経度180度のところにあり、西から東へ通過するときは1日遅らせ、東から西へ通過するときは1日進める。」 書いて覚えるならこんな感じで。

いかがでしたか。「あ～同じことやってたな」と思うようなところはありませんでしたか。算数や国語の勉強法も教えてほしい!という人は是非質問に来てくださいね!

勉強はやり方次第で誰でも成績を伸ばせます。しかし私達は知らず知らずのうちに間違っただけのやり方のまま進めてしまっていて思ったように成績が上がらず「やってもどうせ無理」とあきらめてしまい、勉強の意味さえ分からなくなっていく...。勉強のやり方ってとても大事なんです。「家で一人で何からどうやって勉強したらいいのかわからない」という人は是非教室の先生に「教えて!」と言いに来てくださいね。

今から何だってできる、何にだってなれる、そんな小学生の皆さんにぜひ親子で読んでもらいたい本を紹介します。勇気をもらえるし、勉強を頑張るって大事なんだなって気づけると思います。



▲いつも「マナフィー!」と声をかけてくれる小6生達。中学生になっても変わらずそうしてね!

私は中学生の授業を担当しておりませんが、中学生の皆さんも部活と両立しながら大変なプレッシャーの中よく頑張っているのを目にします。パスカルの授業の間も小幡先生や坪田先生に提出物を持ってきたり、質問に来たり、昼間から夜遅くまでいる子達も。勉強、勉強で疲れ切っているだろうなと思いきや休み時間には男子同士つるんでおバカなことして爆笑していたり、飴玉1つあげるだけでめっちゃめちゃ喜び!私も自分の娘が中学生になったことで今まで以上にカイチの中学生達が大変な環境の中みんなそれぞれよく頑張っている姿が目について感心させられます。今皆さんが頑張っていること(部活や習い事)、行きたい高校に行くためにカイチに来て、夏期講習で勉強を頑張っていること、それは必ず皆さんの将来を豊かにしてくれます。でも親や先生からいくら「将来のためだ」と言われても今はあまりピンときませんよね。そういう私達大人も中学生時代はそうでした。どんなに頑張っても後悔はするものかもしれませんが、この本を読めばいろんなことが納得できると思います。私も中高生の時に読みたかったなと思いました。勉強で疲れて、ちょっと励まして欲しい時、やる気がほしい時に少し読んでみてください。今しなければならぬ宿題や過去問やワークという目の前のことで一杯一杯になっていませんか?そういうしんどい時は、この先「こんなことしたいな」「あんなところに行きたいな」と楽しいことをしている自分の姿をたくさん思い浮かべてみてくださいね。皆さんの頑張りが実りますように!!



▲大事なのは「自分がどうなりたいか」をいつも考え続けること

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

Talking Kids Explore Summer Learning Talking Kidsの夏期学習を探検!

カトリナ・藤川(トーキングキッズ)

One of the most heartwarming things to witness during the Talking Kids Summer Class is the natural curiosity of our students. Every day their eagerness to learn, explore and discover new things fills the classroom with excitement and energy.

During science experiment, children couldn't wait to see what would happen next. With wide eyes and curious minds, they asked questions like "What will happen if we mix this?" Their excitement was contagious as they observed reactions and learned how things work in hands on, engaging way. Their faces lit up with amazement, curiosity, and pure joy,

Talking Kidsのサマークラスで最も心温まる光景のひとつは、生徒達の自然な好奇心です。毎日、学びたい・探求したい・新しいことを発見したいという意欲が教室をワクワクとエネルギーで満たしてくれます。

理科の実験では、子供達は次に何が起こるのか待ちきれない様子でした。目を輝かせ、好奇心いっぱいの表情で「これを混ぜたらどうなるの?」と質問する姿が印象的です。反応を観察しながら、実際に手を動かして学ぶことで、物事の仕組みを楽しく理解してきました。驚きや喜びに満ちた表情は、体験型の学びが本物の「発見の楽しさ」を引き出

proof that hands on learning sparks a real love for discovery. Their curiosity also extended to new vocabulary. When learning something unfamiliar, they asked questions like "How do I say this in English?" showing a growing interest in language and a strong eagerness to improve their communication skills.

Art time was another highlight. With paintbrushes in hand, they loved exploring colors and techniques. One of the most common questions was "Can I use more colors?" a simple but powerful signs of growing creatively and confidence. During its session it shows how much they enjoyed

している証です。 語彙への好奇心も旺盛で、知らない言葉に出会うと「これ英語でどう言うの?」と質問する姿が見られました。言語への関心が高まり、コミュニケーション力を伸ばしたいという意欲が感じられます。

アートの時間も大人気。筆を手に取り、色や技法を自由に探求することを楽しんでいました。「もっと色を使っていい?」という質問がよく聞かれ、創造力と自信が育っていることが伝わってきます。自分を自由に表現する喜びが、アートの時間にあふれていました。

expressing themselves freely. Even music time brought out joyful curiosity. Children asked, "Can we sing ABC song again?" because they enjoyed not just singing, but also expressing themselves through movement and rhythm.

My Beginner Class looks forward to learn and have fun at the same. It has been such a wonderful experience to teach Talking Kids this summer. Our students were thrilled to try something new proving that learning truly is fun and exciting at Talking Kids. (Talking Kids Katrina Fujikawa)

音楽の時間も好奇心いっぱい。「ABCの歌、もう一回歌っていい?」と聞く子供達は、歌うことだけでなく、動きやリズムを通して自分を表現することを楽しんでいました。 初級クラスの子供達は、「学ぶこと」と「楽しむこと」の両方を心待ちにしています。この夏、Talking Kidsで教えることができて本当に素晴らしい経験でした。新しいことに挑戦することを楽しむ生徒達の姿は、「学ぶは楽しくワクワクするものだ」と改めて実感させてくれました。 (トーキングキッズ カトリナ・藤川)



When learning something unfamiliar, they asked questions like "How do I say this in English?" showing a growing interest in language and a strong eagerness to improve their communication skills.



Even music time brought out joyful curiosity. Children asked, "Can we sing ABC song again?" because they enjoyed not just singing, but also expressing themselves through movement and rhythm.



Art time was another highlight. With paintbrushes in hand, they loved exploring colors and techniques. One of the most common questions was "Can I use more colors?" a simple but powerful signs of growing creatively and confidence. During its session it shows how much they enjoyed



My Beginner Class looks forward to learn and have fun at the same. It has been such a wonderful experience to teach Talking Kids this summer. Our students were thrilled to try something new proving that learning truly is fun and exciting at Talking Kids. (Talking Kids Katrina Fujikawa)